

公益社団法人 日本地下水学会

2024年度 第3回 理事会議事録

1. 開催日時：2024年6月22日（土） 13:30～16:45

2. 開催場所：京橋プラザ区民館1号室、Web会議

3. 理事総数：14人

4. 出席理事数：11人

○：出席、×：欠席

理事	伊藤 浩子	○*	理事	蛭原 雅之	○
理事	遠藤 崇浩	○*	理事	久保田 富次郎	○*
理事	阪田 義隆	○	理事	杉田 文	○
理事	瀬尾 昭治	○*	理事	高木 一成	○
理事	竹内 真司	×	理事	辻村 真貴	×
理事	中島 誠	○	理事	宮越 昭暢	×
理事	山中 勝	○	理事	吉田 広人	○*

*Webにて出席、他は開催場所にて出席

5. 出席監事数：1人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	×	監事	五藤 幸晴	○
----	-------	---	----	-------	---

*Webにて出席、他は会議室にて出席

6. 議長の氏名：会長 杉田 文

代表理事 杉田 文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況

- ・ 6月3日（月）：日本学術会議地球惑星科学委員会次世代育成分科会 出席
- ・ 6月18日（火）：日本地球惑星科学連合（JpGU）学協会長会議 出席
- ・ 6月18日（火）：「第26回日本水大賞・2024日本ストックホルム青少年水大賞」表彰式 出席

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 蛭原 雅之

10. 理事会資料

- ・ 資料 1 : 2024年度 第3回理事会 議事次第
- ・ 資料 2 : 2024年度 第2回理事会 議事録

- ・ 資料 a (5種) : 審議資料
- ・ 資料 b (12種) : 協議資料
- ・ 資料 c (20種) : 報告資料

【審議事項】

第1号議案：入会の承認（総務委員会：資料a審議_13(総)-1)

- ・ 正会員5名について、入会を承認した。

第2号議案：文部科学大臣表彰の推薦（総務委員会：資料a審議_13(総)-2a,2b)

- ・ 令和7年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰の科学技術賞 研究部門に、谷口真人正会員（総合地球環境学研究所 副所長・教授、元会長）を推薦することとした。

第3号議案：科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書への対応について（総務委員会：資料a審議_13(総)-3)

- ・ 生物科学学会連合から打診のあった、「科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書」への連名について、JpGU（日本地球惑星科学連合）が既に連盟に加わっているため、さらに傘下の学会が個別に賛否を表明する必要性は低いとの意見を回答することとした。

第4号議案：PFASによる地下水汚染への対応に関する調査・研究グループの設立（調査・研究委員会：資料a審議_07(調))

- ・ 正会員より申請があった「PFASによる地下水汚染への対応に関する調査・研究グループ」について、調査・研究委員会から申請内容の説明があり、設置を承認した。

【協議事項】

①地域地下水DBの更新内容について（調査・研究委員会：資料b協議_07(調)-1a,1b,1c)

- ・ 本年度更新を予定する地域地下水情報データベースの更新方針について意見照会があった。今後、メールニュースにより学会員にも修正要望をヒアリングした上で修正方針案を整理し、第4回理事会に示して再度意見照会を行ったうえで、年度内の更新版を完成する予定との見通しが示された。

②会費未納会員への対応について（会計委員会：資料b協議_11(会))

- ・ 会費未納会員の報告があり、2年以上の滞納者について、事務局からの督促状と個別連絡により会費徴収を図ることとした。

③CCライセンスの導入にともなう投稿規程・執筆要綱の改定について（総務委員会：資料b協議_13(総)-1a,1b)

- ・ 投稿規程・執筆要綱_改定案について意見照会があった。また、次回理事会での承認に向けて、理事・監事から事前に意見を出示してもらいたいとの要請があった。

④TWSGH秋季講演会招待について（総務委員会：資料b協議_13(総)-2)

- ・ TWSGH（Taiwan Society of Groundwater Hydrology）の訪問団を秋季講演会に招く方向で調整を進めることとした。

⑤企業冠賞について（総務委員会：資料b協議_13(総)-3a,3b,3c)

- ・ 若手育成のための持続的な資金調達の観点から企業冠賞の設立を検討することとし、特別会員全社に協力への意向等についてアンケートを実施することを確認した。

⑥個人情報取扱規程の再改定検討について（総務委員会：資料b協議_13(総)-4)

- ・ 各委員会等での個人情報の取り扱い状況を確認した上で、クラウド利用等の現状も踏まえて個人情報取扱規程の再改定を検討する方針を説明し、個人情報を取り扱う機会のある委員会に協力を要請した。

⑦学会業務のオンライン化について（総務委員会：資料b協議_13(総)-5)

- ・ 会員管理や入出金の自動化を図るための事務局業務オンライン化に向けて検討を進めることを確認し、3社に条件提示の上でヒアリングを実施し、次回理事会で比較表をもとに再協議することとした。

【報告事項】

企画委員会：（資料c報告_03(企)）

- ・ 論文解説セミナー第3回の準備状況が報告された。
- ・ 2024年度のシンポジウムについて、「有機フッ素化合物（PFAS）と地下水」をテーマに11月～12月の開催に向けて準備を進めている状況が報告された。
- ・ 流域・地下水調査法講習会の構成と日程の見通し（第1回：8月31日、第2回：9月28日、第3回：10月26日および日程調整中1日）が報告された。

行事委員会：（資料c報告_04(行)）

- ・ 2024年春季講演会の参加状況、若手優秀講演賞採点結果、暫定決算等が報告された。
- ・ 秋季講演会の準備状況、および第29回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会の開催予定地等が報告された。

渉外委員会：

- ・ 本年度も「地下水のきほん」を継続の方向で調整中であるとの報告があった。

編集委員会：（資料c報告_06(編)-1,2,3）

- ・ 第66巻2号（2024年5月号）の出版報告、第66巻3号（2024年8月号）の出版スケジュールと印刷計画、および原稿処理状況が報告された。
- ・ 会誌のインデックス化およびオープンアクセス化に関する対応状況について説明があった。

調査・研究委員会：（資料c報告_07(調)）

- ・ 「地下水学の最先端（state of the art）および典型的(classic)学術・技術の調査取り纏め研究グループ」の活動状況について、9月上旬に「地下水の事典」を出版する見通しであり、広報活動について検討中との報告があった。
- ・ 「国土数値情報と高度利活用調査・研究グループ」について、5月21日にオンラインでのキックオフミーティングを開催し、20名で活動を開始したとの報告があった。
- ・ 「令和6年能登半島地震に関する調査・研究グループ」について、66巻2号の会告にて参加者の公募を開始し、理事会開催日時点で約10名の応募があったことが報告された。

市民コミュニケーション委員会：（資料c報告_08(市)）

- ・ 湧水巡り in 松本市の準備状況、および10月5日(予備日10月6日)に開催予定であることが報告された。
- ・ 5月下旬に出前講座の依頼があったが、個別事業に関わる事案であったことからお断りしたことが報告された。

広報・IT委員会：（資料c報告_09(広)）

- ・ 前回理事会以降の活動状況、直近2カ月の公式ウェブサイトおよび公式SNSアカウント、グループウェアの管理運用と情報発信の状況が報告された。
- ・ ホームページのお知らせや公式SNSアカウントの活用、委員会内でのホームページ担当者の配置、学会ドメインのメールやグループウェアの利用について、各委員会への呼びかけがあった。

YEPS委員会：(資料c報告_10(YE)-1,2)

- ・ 「2024年度若手地下水研究助成」の進捗状況について、申請状況、審査スケジュール等が報告された。
- ・ 2024年春季講演会における若手交流会の実施結果およびアンケート集計結果の報告があった。

会計委員会：(資料c報告_11(会)-1,2)

- ・ 6月14日現在の会員数、会費納入状況および収入・支出状況等が報告された。
- ・ 学会会計の長期変遷について説明があった。

表彰委員会：(資料c報告_12(表))

- ・ 2025年度の技術賞および地下水学術賞の公募を開始することが報告された。

総務委員会：(資料c報告_13(総)-2,3,4,5,6,7)

- ・ 後援共催等の対応状況、ジオスクーリングネットへの登録状況、自動車技術会「高翔」への広告掲載等が報告された。
- ・ 次回以降の理事会は2024年8月31日（土）、10月26日（土）、12月21日（土）、および2025年2月15日（土）を予定する。

以上をもって議事を終了したので、議長は16時45分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2024年7月18日

公益社団法人日本地下水学会 理事会